

平成 30 年第 2 回浅口市教育委員会議事録

1. 招集日時 平成 30 年 2 月 14 日 (木)
2. 場 所 浅口市中央公民館第 1 会議室
3. 開 会 午後 1 時 30 分
4. 閉 会 午後 2 時 45 分
5. 出席者 中野留美 中務美保子 原田玲子 藤澤弘幸 佐藤賢次

6. 説明のために出席した者の氏名

教 育 次 長	櫛田忠	学校教育課長	原田英明
こども未来課	石田康雄	文化振興課長	小山朋子
生涯学習課長	清水真	金光分室長	清水房恵
寄島分室長	田中太志	学校給食センター所長	山本峯廣
教育総務課	山崎友紀	(事務局)	

7. 傍聴人 なし

8. 議 事

日程 1 議事録署名委員について  
浅口市教育委員会議規則第 29 条により原田委員を指名。  
(了承)

日程 2 会期について  
本日 2 月 14 日の 1 日会期  
(承認)

日程 3 議案第 2 号 準要保護の認定について  
(学校教育課長)  
資料により説明。  
(承認)

日程 4 議案第 3 号 浅口市文化財保護委員会委員の委嘱について

(文化振興課長)

資料により説明。

(承認)

日程 5 諸般の報告について

(教育次長)

今後の市民体育祭の在り方について報告。

平成30年度教育行政の基本方針について今後の流れを説明。

(学校教育課長)

学校電話受付対応時間の設定について、資料により報告。

来年度事業に関して、学力向上支援員の配置人数の変更、

心の教育推進事業、ALTの増員について、資料により報告。

体力テスト結果について報告。

(教育委員)

心の教育推進事業は市独自の事業か、又は県から補助金が出る事業か。

(教育長)

市独自で行う。自己肯定感や自己有用感を高めることができれば、いろいろな場面でよい効果が表れると思う。また、教員が日常の教育の中で褒めることを取り入れる手法を学ぶことができれば、日々の教育も変わってくると思う。

(教育次長)

菊池氏をお招きするのは、県内初。学力向上No.1プロジェクトを推進する柱として「知・徳・体」があるが、「徳」の部分として新たに組み組んでいきたいと思っている。

(教育委員)

モデル校での公開授業や研究協議は、他校の教員も参加可能か。

(学校教育課長)

市内全校の教員を参加対象とする。

(こども未来課長)

来年度事業に関して、金光幼稚園預かり保育事業の早朝保育廃止について報告。

(文化振興課長)

来年度事業に関して、浅口市青少年海外派遣事業補助金の見直しについて報告。

(教育委員)

希望者は毎年どれくらい、いるのか。

(文化振興課長)

年によってバラつきがあるが、今年度は20数名の希望があった。ただ、昨年度は49名もの希望があった。

(教育委員)

小学校から英語が実施されるようになると、希望者がさらに増えるように思う。受け入れ人数を増やす良い手立てがあるといいが。

(生涯学習課長)

スポーツ少年団加入率について報告。

来年度事業に関して、海洋クラブの休止、スキー教室の廃止について報告。

(寄島分室長)

来年度事業に関して、寄島B & G海洋センターの開館期間の変更について報告。

## 日程5 その他について

(教育委員)

インフルエンザで休んだ子どもが登校する際に学校へ提出する治癒証明について、求めている地域もあるということをおこの前初めて知る機会があった。

(教育長)

以前、インフルエンザが大流行した年に、浅口市でも病院が証明対応できないといった状況が発生し、その年は治癒証明を求めない対応をとったことがあった。しかし、学校側としては病気が治癒しているかどうか証明がほしいという事情があり、その後は治癒証明をもとめる方針にした経緯がある。

県で治癒証明に関し指導があるか、また他市の状況や養護教諭の意見も聞きながら少し研究してみたい。

次回教育員会議

平成30年3月13日（水）13時30分～

浅口市中央公民館視聴覚室

平成30年3月13日

浅口市教育委員会

教育長 中野留美

委員 原田玲子

作成職員 山崎友紀